

地方創生推進タイプ (先駆型・横展開型・Society5.0型)

事業概要【アート&クラフト市場の活性化と文化観光のコラボによる文化芸術産業創生事業】

推進当初

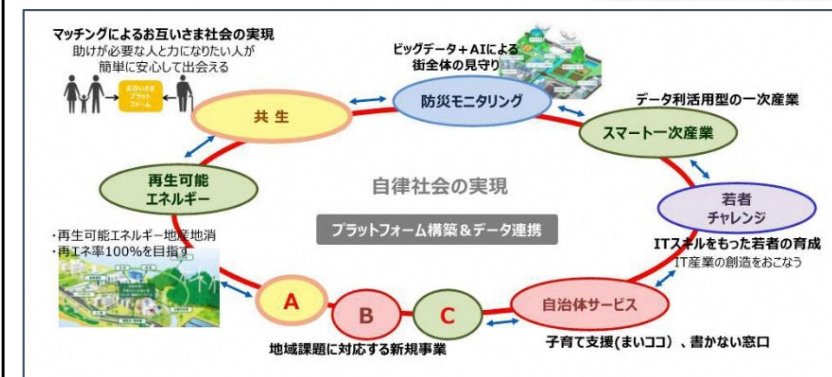
申請者	京都府ほか5自治体※	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	1,476,890千円(262,489千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的(効果)	・アート&クラフトの一大流通市場を京都に形成し、アート市場を活性化し、芸術家や職人の京都での活躍促進 ・富裕層が特別な体験のできるコンテンツを造成し、観光客の府域全体への周遊を促進 ・京都から文化、芸術、観光のコラボする圏域を形成し、大阪・関西万博に向けて関西の地域活性化を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○芸術人材の育成・キャリアアップ ・支援者等との交流によるキャリアアップ支援(49,000千円) ・海外連携による職人の商品開発等のスキルアップ支援(25,580千円) ・未来志向のものづくり人材の発掘及び育成支援(6,840千円) ○作家等が活躍できる場の創出 ・芸術家とコレクター等の交流による購入・支援環境の創出(10,391千円) ・京都におけるアート&クラフト市場の創出(17,900千円) ○「アート&クラフトのまち」と連携した文化観光圏域の形成 ・アート&クラフトをテーマとした周遊観光の活性化(69,978千円) ・アート&クラフトをテーマとしたインバウンド誘致(32,600千円) 他 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業における作家、職人、アート&クラフトプロデューサーなどの育成数(+285人) ②アートフェア等でのアート&クラフト商品の売上高(+950,000千円) ③本事業におけるアート&クラフトを軸としたイベント等の参加者数(+53,500人)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証) https://www.pref.kyoto.jp/shingikai/keikaku-03/index.html

※京都府、京都市、城陽市、南丹市、木津川市、京丹波町の広域連携事業

事業概要【「心が通う便利な田舎暮らし」実現のための「舞鶴版Society5.0 for SDG s」推進事業】

推進当初

申請者	京都府舞鶴市	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	611,104千円 (114,561千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	都会にはない豊かな自然や本市特有の歴史・文化を最大限に生かすとともに、A I やIoT等の先進技術を積極的に導入し、「舞鶴版Society5.0 for SDG s」を推進する中で、日常生活や都市機能における効率性や利便性の向上、ヒトとヒトのつながりの強化、高齢者や女性の更なる社会参画等を促し、持続可能なまちを実現する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	1. 舞鶴版Society5.0 for SDGsの基盤を作り、 新たなヒト・モノ・カネ・情報の流れをつくるための取組 ・取組のプロモーション、普及啓発（委託料）3,900千円 ・企業と市民の交流促進（委託料等）14,240千円 ・先進技術の導入、実装（委託料等）21,303千円 2. 稼ぐ仕事をつくり、安心して働けるようにするための取組 ・地域資源を活用した交流人口等の拡大（委託料等）22,168千円 ・定住促進と地域産業の担い手確保（委託料等）9,649千円 3. 多様な人材の活躍を推進するための取組 ・高齢者等の外出支援等（補助金等）11,407千円 4. 結婚・出産・子育ての希望を叶えるための取組 ・語学教育の充実、乳幼児教育環境整備（委託料等）31,894千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光入込客数（+400万人） ②一人あたりの観光消費額（+1,500円） ③地域の子育て環境や支援についての満足度（+21%）	関連URL	◆ 交付金の使途・実施体制 https://www.city.maizuru.kyoto.jp/shisei/0000009421.html ◆ 効果検証 調整中



事業概要【減塩を核とした健康で質の高い生活を志向するまちづくり】

推進当初

申請者	京都府城陽市ほか2自治体※	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	114,467千円 (26,187千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・先駆型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	・「減塩」を柱とした「健康で質の高い」まちづくりを進める ・誰もが健康で人生の最後まで自分らしく暮らせるまちをめざす ・減塩の取組を通じた3市間の情報発信や交流を図り、市民の外出の機会を創出する		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	(1) 減塩を核とした健康づくりによる地域の活性化。3市が連携する「減塩によるまちづくり事業」として開催する。 ・生涯スポーツ推進事業 (4,364千円) ・健康づくり・食育推進事業 (4,449千円) (2) 住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられる環境づくり。高齢者が外出するきっかけとなるイベントの開催、園芸場所や生涯スポーツをする場所を提供する。 ・地域イベントの開催経費 (8,930千円) ・市民の生きがいと健康づくりのための生涯スポーツができる場所の提供 (1,656千円) (3) 高齢者の外出手段の提供 ・民間事業者が運行する送迎バスの空席を利用した外出支援に係る経費 161千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①特定保健指導実施率 (+24.0%) ②高齢になっても安心して地域で暮らせると感じている市民の割合 (+6.08%) ③自主的に健康づくりを行っている市民の割合 (+5.54%) ④特定健康診査受診率 (+13.0%)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.city.joyo.kyoto.jp/000009197.html (効果検証) 調整中

※京都府城陽市、向日市、京田辺市の広域連携事業

事業概要【「子育て、子育てにやさしい」京都創生プロジェクト事業】

推進当初

申請者	京都府ほか15自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	2,552,765千円 (504,280千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	■ 子育てにやさしいまち（誰もが住みやすいまち）の核づくりを創出する ■ 地域での仕事づくりを目指す ■ 関係人口の創出、若者定着を促進する ■ 若者・子育て世代にとって魅力的な住環境を創出する		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○誰もが住みやすいまちづくり事業(府内への横展開) ・まちの核(中心エリア)づくり支援(ソフト分)60,000千円 ・まちの核(中心エリア)づくり支援(ハード分)40,000千円 ○第2期京都府地域創生戦略(各地域の将来像)に基づく各市町村の中心エリア間の政策連携促進 ・各市町村独自施策 354,280千円 ○【まちのファンづくり(若者定着促進)】 ・生活支援コーディネーター(アドバイザー配置)3,000千円 ・「風土づくり」「まちづくり」「職場づくり」部会の開催3,000千円 ・府内企業経営者による産業学セミナー、就職支援協定締結大学におけるミニ企業説明会等28,000千円 ・就労環境改善に取り組む中小企業支援8,000千円 ・就労環境改善のための就労環境改善アドバイザー派遣8,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①モデル地域市町村における人口の社会減解消 (+900人) ②市町村による重点取組エリアの設定 (+25箇所) ③エリア内の起業数、雇用数等(関係人口の創出) (+580件)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証) https://www.pref.kyoto.jp/shingikai/keikaku-03/index.html



事業概要【あなたとともに「心やすらぐ地域の暮らし」を ～みんなが主役の地域振興事業～】

推進当初

申請者	京都府ほか18自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	4,268,236千円 (881,347千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・先駆型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	・若者たちが京都で夢を実現できる環境をつくり、移住定住を促すことで、新たな人の流れを生み出す。 ・京都ならではの伝統や文化が息づく「暮らし・生き方」のモデルを創出する。 ・地域のあらゆる産業が連携し相乗効果を生み出せる、観光を入口とした地域振興と多角的な地域経済を実現する。 ・地域を支える新たな動きや活力が生まれ、温かくも多様な人との交流で、誰もが住みやすい豊かな地域を育む。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○人口減少時代においても活力あふれる地域コミュニティづくり ・農山漁村地域におけるコミュニティの活性化支援 (72,500千円) ○若者等の地元回帰に向けた、地域の魅力ある仕事づくり ・「アートとテクノロジーの融合」による若者を引きつける魅力的な産業拠点づくりと人材確保・育成 (38,000千円) ○暮らしやすさ向上による移住定住の促進 ・地域拠点での地域外人材との交流事業 (31,880千円) ○外部から稼ぐ地域内経済循環の実現 ・クルーズ船受入による地域経済の振興 (15,891千円)		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域への移住者、地域活動にかかわった地域外の人々の延べ人数 (+440人) ②地域での新規就職者数 (+570人) ③本事業により空き家等を活用して交流を行う拠点数 (+15箇所) ④地域の一人当たり所得向上額 (+360千円)		関連URL (交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証) https://www.pref.kyoto.jp/shingikai/keikaku-03/index.html

※京都府、京都市、福知山市、綾部市、宇治市、亀岡市、城陽市、八幡市、京田辺市、南丹市、木津川市、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村、京丹波町の広域連携事業

事業概要【スタジアム発！eスポーツ産業創造・育成事業】

推進当初

申請者	京都府	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	411,832千円（61,666千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・eスポーツ大会等の開催により、サンガスタジアム by KYOCERAの多角的利用による賑わい創出を図る ・サンガスタジアム by KYOCERAをeスポーツに関連する新たな人材育成の拠点地とすることを旨とする		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○スポーツ拠点としての認知度向上を図るための20,000人規模の集客イベント「京都スタジアム杯」の開催 33,333千円 ○オンライン観戦ツール等の運用 13,333千円 ○屋内施設用次世代高速wifiの運用 2,000千円 ○eスポーツマネジメント人材育成講座の開催 3,336千円 ○プログラミング・サイバーセキュリティ等の高度デジタル人材育成講座の開催 8,000千円 ○小中高生向けプログラミング体験会・プログラミング大会の開催 1,664千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①サンガスタジアム by KYOCERAで開催されるeスポーツ及びプログラミングイベントの参加人数（オンライン参加を含む）（+40,000人） ②プログラミング・サイバーセキュリティ等の高度デジタル人材の育成人数（講座受講者数を含む）（+1,400人） ③小中学生向けプログラミングイベント参加者数（+300人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制）調整中 （効果検証） https://www.pref.kyoto.jp/shingikai/keikaku-03/index.html

事業概要【「海の京都連携都市圏」形成推進事業】

推進当初

申請者	京都府舞鶴市ほか6自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	1,981,799千円（413,702千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	京都府北部5市2町それぞれが有する強みを活かし、連携と協力により役割分担と機能強化を図るとともに、公共交通等のネットワークの利便性を向上させることで、京都府北部が一つの経済・生活圏を形成し、圏域全体における地域循環型の経済成長、高次の都市機能の確保、生活関連機能の向上に協働・連携して取り組み、都会にはない豊かで文化的な生活環境を有する仮想的30万人都市圏を実現し、京都府北部地域の創生に取り組む。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○圏域全体の経済成長のけん引 ・産学官連携コンソーシアム研究事業 2,200千円 ・地域の新たな「稼ぐ力」の創出のための創業支援事業 13,257千円 ・特色あるものづくり産業の「稼ぐ力」強化支援事業 62,485千円 ・黒谷和紙や丹後ちりめんなど伝統産業における「稼ぐ力」拡大支援事業 11,312千円 ・特色ある一次産業における「稼ぐ力」創出事業 65,346千円 ・新たな生活様式に対応した「海の京都観光圏」の形成推進事業 8,680千円 ○高次の都市機能の確保・充実 ・高等教育機関と連携した人材育成事業 17,744千円 ・高等教育機関と連携した地域づくり促進事業 42,182千円 ○圏域全体の生活関連機能サービスの向上 ・関係人口創出事業 38,166千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①圏域への移住世帯数（+50世帯） ②ワーケーション施設・テレワーク施設・サテライトオフィスの施設利用者数（+4,958人） ③製造品出荷額（+1,686,375万円）		関連URL 京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会 https://kyotohokuburenkei.jp/k/ 効果検証（代表・綾部市） https://www.city.ayabe.lg.jp/0000002649.html

※京都府舞鶴市、福知山市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町の広域連携事業

事業概要【移住促進により地域を元気にするプロジェクト「移住するなら京都」】

推進当初

申請者	京都府ほか12自治体※	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	2,036,668千円（466,997千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	移住者等を地域に積極的に受入れ、移住者や関係人口が活躍しやすい地域を各地に展開するとともに、地域の特色に合わせた活躍テーマを明示することにより、自分の実現したい生き方や追いかけてみたいテーマに合った生活やダイバーシティに惹かれ様々な知識・経験・技能等を持った人が訪れ、活動し、暮らすことができる、多くの移住検討者に選ばれる「移住するなら京都」への取り組みが地域の活性化に繋がるという好循環を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	●移住と地域づくりの関係性 0千円（交付金事業外で実施） 移住促進特別区域の指定、移住者受入・活躍応援計画の認定 ●移住を受入れられる地域や対応の拡大 6,162千円 移住情報の一元管理、オンライン化 他 ●周知度アップによる移住検討者数の増加 109,200千円 アウトリーチ型情報発信拠点の設置 他 ●移住者へのフォローアップ、交流人口や関係人口との循環拡大 100,379千円 移住者受入・活躍応援事業 他 ●移住者の「職」への支援＋関係人口の取込 108,560千円 ワーケーション推進エリアにおける関係人口づくり 他 ●移住者等受入整備事業 142,696千円 地域内の空家改修による移住者受入促進 他		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①京都府条例に基づく「移住促進特別区域」へ移住した人数（年間）（＋1,430人） ②京都府条例に基づく「移住促進特別区域」のうち、「移住者受入・活躍応援計画」を策定し地域の特性に応じた移住者や関係人口と協働で地域作りに取り組む地域数（新規取り組み地域）（＋22地域） ③当該年度の移住者の定住率（令和元年度実績の維持）（＋0％）		関連URL （交付金の具体的使途・実施体制）調整中 （効果検証） https://www.pref.kyoto.jp/shinigikai/keikaku-03/index.html

※京都府、京都市、福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、亀岡市、城陽市、京丹後市、南丹市、和束町、京丹波町、与謝野町の広域連携事業

申請者	京都府ほか4自治体※	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	633,805千円 (217,823千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	海外進出等、新規マーケット開拓による「出口」支援と、業界の生産体制を再構築させていく施策を両輪で行っていくことにより、京都の伝統産業を、現代の生活様式に溶け込んだ「生活文化提案型産業」へと変革させ、業界全体の再生、再構築を図り、ひいては持続可能な後継者の育成を推進する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	1.新しい市場への展開 110,708千円 ・海外建材市場など、新たな市場への展開支援、海外展開に必要な新たな商品づくりや販路開拓に係るサポート体制の構築 等 2.時代に応じた生産体制の再構築 37,150千円 ・染織3産地（西陣織、京友禅、丹後織物）の連携による新分野展開支援、京都の伝統産業の新規ビジネス展開等の総合支援 等 3.持続可能な後継者の育成 58,339千円 ・若手職人等が実施する「京ものクオリティ製品」の新商品開発と販路拡大の推進、伝統産業の人材育成等への支援 等 4.文化観光の促進 11,626千円 ・文化観光講座や文化観光に関するWEB記事・動画・パンフレットの作成、雑誌等での広報 等		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業において支援した伝統産業分野における販売額の増加 （+6.6億円） ②本事業を通じた伝統工芸品の商談成立数 （+485件） ③本事業における各種施策を活用して新たな市場に参入する事業者数 （+660事業者）		関連URL （交付金の具体的使途・実施体制）調整中 （効果検証） https://www.pref.kyoto.jp/shingikai/keikaku-03/index.html

事業概要【京もののブランド総合戦略事業】

推進当初

申請者	京都府ほか6自治体※	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	570,362千円(243,650千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的(効果)	・フードテックによる高機能性品種の研究・育成、それを用いた加工食品の開発等を行い、府内農林水産物の新たなブランド価値の創出を図る ・スマート農業技術の導入により、新品種、有機農業等の産地化を図る ・多様化する消費者ニーズに対応する京もののブランドを確立し、その高付加価値化、需要拡大を図る ・食に関わる多様な事業者が連携し、新しいライフスタイルに対応した商品・サービスの開発や販売チャンネルの拡大を実現させる京もののブランドサプライチェーンの構築を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○京もののブランドの価値向上に資する産学公連携の研究の実施 新品種の研究や育成、加工食品開発等(委託費等)30,000千円 ○オンラインマルシェやECサイトによる販売といった、多様化する消費者ニーズに対応する取組の促進 取組に対する経費支援(補助金)16,500千円 ○生産・加工・販売事業者が連携し、付加価値を更に高めた「京もののブランドサプライチェーン」モデルの構築 多様な事業者が連携した新商品・サービスの開発支援(補助金)30,000千円		 オンライン産地説明会の開催
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①京もののサプライチェーンモデルで生み出された商品・サービスの販売額(+16.7億円) ②京のブランド産品((公社)京のふるさと産品協会が認証する府内産農林水産物等)販売額(+6億円) ③京都プレミアム中食の開発数(+170件)		関連URL (交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証) https://www.pref.kyoto.jp/shingikai/keikaku-03/index.html

※京都府、京都市、城陽市、大山崎町、精華町、和束町、舞鶴市の広域連携事業

事業概要【びわ湖疏水船事業を中核とする疏水フィールドミュージアム広域化事業】

推進当初

申請者	京都府京都市、滋賀県大津市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	290,938千円 (49,500千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・官民が連携したプロモーションを展開し、疏水通船及び疏水沿線への誘客を図る ・京都から大津・琵琶湖へと広域観光を深化させ、観光需要を創出し、地域経済の底上げを図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	大阪万博・ワールドマスタースゲームを見据え、航路延伸先である琵琶湖の大津港を起点とする既存の琵琶湖周辺観光コンテンツとの連携したコンテンツの磨き上げのほか、国内外に向けたプロモーションを推進する。 ○航路延伸便と連携した琵琶湖周遊観光事業の磨き上げ 14,000千円 ○疏水ツーリズム促進事業における国内外PRの推進 23,000千円 ○民間活力活用推進プロモーション 3,000千円 ○人材育成等の運営支援 9,500千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①大津市観光消費額（+1,042億円） ②大津港周辺（浜大津・膳所地区）の来訪者数（+2,934千人） ③びわ湖疏水船教育目的乗船者数（+950人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/cmsfiles/contents/0000316/316947/R4chihososei.pdf （効果検証） 調整中

事業概要【「人づくり」から「しごとの場づくり」まで一体で創造する京都・キャンパス創生事業】

推進当初

申請者	京都府ほか3自治体※	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	855,105千円 (343,278千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・若者の府内定着を図るため、地域で活躍できる人材を育成するとともに、大学の魅力向上による学生の確保を進める。 ・府内企業においてデジタルネイティブ世代である学生が活躍できる雇用環境を創出する。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	1 地域産業の担い手確保 (1) 産官学の連携強化 97,508千円 ・京都府地域共創大学連携会議の設置、リカレント教育の推進等 (2) 地域課題解決に向けた担い手確保 62,755千円 ・学生の活躍が見込まれる府政分野における京都府と大学等の共同事業、学生への情報発信、多様な人材受入促進のための取組等 (3) 地域内産業への就職促進 147,335千円 ・けいはんな大学連携協議会（仮称）の設置、2025大阪・関西万博開催を視野にいた情報発信、産業集積地域（リーディングゾーン）における企業誘致活動を展開、府内中小企業の職場体験普及等 2 DXの推進による産業振興・雇用創出 (1) 観光DXの推進 20,000千円 ・地域と連携したデータの分析・収集、DXを支える専門人材の育成 (2) 建設DXの推進 15,680千円 ・ICT導入による施工管理の効率化支援、ICT技術を習得するための支援、産学官連携の建設DX推進プラットフォームの運営等  		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①プロジェクト参加者の府内就職数 （+20人） ②DX研修受講等により創出された雇用者数 （+68人） ③ICT技術を活用したプロジェクト参加建設事業者数 （+50社）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制）調整中 （効果検証） https://www.pref.kyoto.jp/shingikai/keikaku-03/index.html

※京都府、京都市、京田辺市の広域連携事業

事業概要【福知山市・丹波市・朝来市 3市圏域の競争力強化による「稼ぐ地域」創造事業】

推進当初

申請者	京都府福知山市ほか2自治体※	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	718,742千円 (157,696千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	古くから生活文化や経済産業面など、多面的に人・モノの交流が活発に行われる3市において、多様な人材の集う圏域づくりや交流人口を含めた圏域への新たな人の流れを作り出すことにより、圏域への一体的な人・モノ・金の流れを作り出し、「稼ぐ地域」をめざす		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○起業・経営力強化促進事業 起業等支援業務委託料、起業家への補助金 等 23,246千円 ○3市圏域雇用促進事業 就職情報サイト運用、就職フェアブース出展料 等 17,944千円 ○地域コミュニティ活性化・デジタル人材育成・DX促進事業 クラウド利用料 等 8,060千円 ○広域観光推進事業 商品開発及び販路支援業務委託料 等 47,980千円 ○シティープロモーション促進事業 イベント用備品費、謝金、負担金 等 45,516千円 ○地域農産物ブランディング促進事業 商談会会場使用料、チラシ作成費 等 6,750千円 ○産学官連携コンソーシアム事業 課題分析・研究等に係る人件費 等 8,200千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①起業支援制度を利用して起業した事業者数及び事業承継した事業者数 (+24件) ②圏域内事業所への新卒就業者数 (+33人) ③圏域内主要観光施設の観光消費額 (+1,071,589千円) ④産学官連携による地域課題解決策の社会実装件数 (+5件)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証) https://www.city.fukuchiyama.lg.jp/soshiki/1/28369.html

※京都府福知山市、兵庫県丹波市、兵庫県朝来市の広域連携事業

事業概要【中心市街地活性化事業～まちなか賑わいプロジェクト～】

推進当初

申請者	京都府京田辺市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	234,400千円（42,980千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	- 本市の中心市街地である中部地域の拠点駅（近鉄新田辺駅、J R 京田辺駅周辺）周辺は、京都市・大阪市中心部とダイレクトに結ばれ利便性が高い一方で、このエリアへの求心性の低下が懸念されている。 - ポテンシャルを生かして、便利で魅力ある中心市街地の形成を通じ、地域内における人とカネが循環する流れを創出することで、中心市街地にふさわしい賑わいと魅力を活力の基盤に求心性を高め、北部地域や南部地域とも相乗効果を生み出し市全域を持続的に発展、成長させる。		
事業概要・ 主な経費	○中心市街地の賑わいづくり支援と事業者の快適な事業環境の整備 ・商店街にぎわいづくり支援事業(駅前商業施設における活性化事業)1,000千円 ・市内事業者強み創造、経営力強化支援（新製品開発、人材確保、企業間連携促進等） 11,400千円 ・新たな事業展開に向けた事業者交流の場づくり(fabスペース運営事業) 2,111千円 ○専門人材の招へいによる観光振興の中核拠点の強化と市内外からの消費の誘導 ・観光協会への専門人材派遣経費（観光協会への補助金） 8,226千円 ・イベント等運営費（会場使用料、消耗品費等） 5,243千円 ○新たなイベント開催による人とカネの流れづくり ・「京田辺市民まつり」開催費用 15,000千円		
KPI	①市内事業者への強み創造、経営力強化支援による開発新製品数（+25点） ②新たな観光拠点における売上高（+2,000千円） ③観光消費額（+262,230千円）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.kyotanabe.lg.jp/0000020422.html （効果検証） https://www.city.kyotanabe.lg.jp/0000020422.html

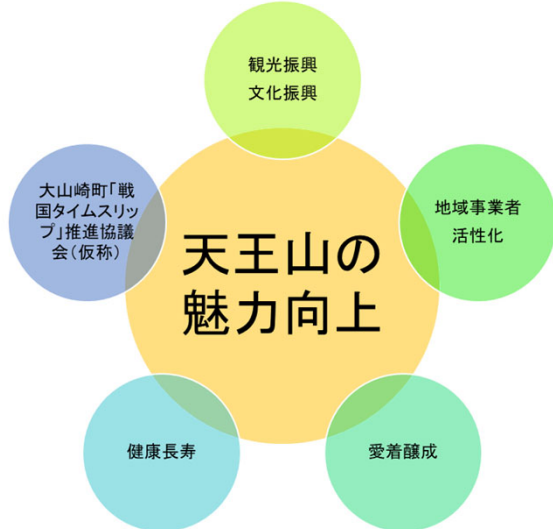
※経費内訳はR6年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

1

推進当初

16

申請者	京都府乙訓郡大山崎町	初回採択回	令和4年度第2回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	22,545千円（6,170千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・天下分け目の天王山の町、という切り口から豊かな歴史や文化遺産を生かして、多くの来訪者を呼び込み、さらなる観光振興を図る。 ・地元住民が多くの来訪者を「おもてなし」することで、住民の我が町への愛着も高める。 ・地元住民にも町のシンボル天王山のハイキングを促し、その健康増進を図ることで、町の重点施策の「健康のまち」を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○＜歴史資料館企画展＞ ・講師等報償費（旅費含む）（報償費） 106千円 ・企画展に係る諸経費 1,894千円 ○＜ハイキングコース補修業務＞ ・安心安全な登山を楽しんでもらえるよう、ハイキングコース中の傷みが生じている箇所について緊急性の高いもの補修、修繕する（工事請負費） 2,000千円	 天王山の魅力向上 観光振興 文化振興 地域事業者 活性化 愛着醸成 健康長寿 大山崎町「戦国タイムスリップ」推進協議会（仮称）	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+63,398千円） ②観光入込客数（+209千人） ③歴史資料館入館者数（年間）（+7,500人）	関連URL	調整中

事業概要【文化庁京都移転を契機とした京都からの文化創造・発信事業】

推進当初

申請者	京都府ほか11自治体※	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	893,627千円 (255,737千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・日本全国及び世界中から府内各地に観光客を呼び込む ・府民が文化を身近に感じることのできる環境を創出する ・地域文化の担い手増加を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○音楽・伝統芸能・舞台芸術等の京都文化発信事業 ・文化芸術フェスティバル開催経費 2,500千円（謝礼、委託費、補助金） ・コンサート開催経費 2,000千円（委託費） 他 ○プロとアマチュアが音楽を通して共演し、文化を体感する事業 ・「合唱」を通じて共演する音楽祭や国際音楽祭プレコンサート、府内学生等を対象とした演奏指導・体験会開催経費 120,000千円（委託料） ○パフォーマーが様々な場所で気軽に表現ができる機会を創出する事業 ・府内アーティストや京都の暮らしに根付く文化の担い手によるパフォーマンスや講演等の実施及び日本人の心根を広く伝えるための発信に係る経費 30,000千円（委託料） ・少年少女合唱団活動事業 2,594千円（報償費、旅費、需用費、委託料、使用料、負担金） ・高校生文化芸術祭典事業 3,210千円（需用費、委託料） 他 ○特色ある文化資源を活かした地域文化発信事業 ・スタンプラリー実施事業 10,196千円（報償費、需用費、役務費、委託料、使用料） ・デジタルマップシステム構築事業 500千円（委託料、印刷製本費） ・シンポジウム開催事業 1,000千円（委託費） ・映画等映像媒体を活用した文化発信事業 1,000千円（委託料） 他  京都からの文化創造・発信		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①30代までの府民で地域の芸能や祭りへ参加している人の割合 （+6.1%） ②文化・芸術に関わりを持つ（鑑賞・体験含む）人の割合 （+21%） ③府域の観光消費額単価 （+1,040円）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 調整中 （効果検証） https://www.pref.kyoto.jp/shingikai/keikaku-03/index.html

※京都府、京都市、宇治市、宮津市、城陽市、八幡市、京田辺市、和束町、精華町、舞鶴市、京丹後市、南丹市の広域連携事業

事業概要【大阪・関西万博きょうとの力創出・発信事業】

推進当初

申請者	京都府ほか6自治体※	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	942,369千円(396,600千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	会期前の府域の機運醸成、会期中に府域へのゲートウェイとなる万博会場や主要駅等を活用した誘客、京都の強みである「文化・環境」「産業」「観光」の分野に係るイベントや国際会議の開催、会期後にも万博会場での取組を引き継ぎ、「京都から世界へ」メッセージを発信するための議論の場の創設など、継続的に人や投資を府内各地へ呼び込むための仕掛けをオール京都で展開し、京都の文化、産業の活性化と人材の育成につなげる。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○200日前や半年前を契機とした機運醸成イベントの開催 7,000千円 ○各市町への誘客の取組 ・観光ツアー等の造成・販売 30,000千円 ・国内外の催事出展 ・MICE開催支援 ・混雑緩和対策 等	   	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①万博関連での京都府域への訪問者数（+3,320人） ②MICE誘致件数（+30件） ③ビジネスツアー開催件数（+20件） ④万博関連での取組に参画する学生等、若手世代の数（+6,000人） ※②、③はビジネスイノベーション創出数の内数	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.kyoto.jp/kikaku/banpaku/index.html （効果検証） https://www.pref.kyoto.jp/shingikai/keikaku-03/index.html

※京都府、京都市、綾部市、宮津市、八幡市、和束町、精華町の広域連携事業

事業概要【若者の活躍・夢実現と活力ある京都経済づくり事業】

推進当初

申請者	京都府、京都市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	652,989千円（240,797千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	在学中から京都企業への理解やマッチング機会の創出により、府内企業への就職を促進することで中小企業の維持存続と活性化を図るとともに、海外人材も含めたスタートアップ支援の強化により、世界に伍するグローバル・スタートアップ・エコシステムを構築し、新卒学生や留学生の受け皿となる成長スタートアップ企業を輩出することで、京都にきた人材が府域に定着し、府内企業の次世代への継承とスタートアップ企業による新たな産業創造を通じ、若者の活躍・夢実現と活力ある京都経済づくりの好循環を生み出す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○既存企業の新事業開発支援 29,300千円 ・事業引継ぎによる新事業展開や経営力強化を図るためのコーディネーターによる伴走支援、円滑な経営統合に要する経費の助成 等 ○外国人起業家の誘致及び事業・生活支援 80,821千円 ・海外人材のビジネス基盤構築支援プログラムの実施（ビジネス人材や地域住民との交流会の開催等）、国を超えた生活・ビジネスを伴走支援するクロスボーダー・アドバイザーの設置 等 ○スタートアップ企業の成長支援 73,350千円 ・民間企業との連携による国際スタートアップイベントや、国際展示会の開催 等 ○学生向け府内中小企業等への定着支援 57,326千円 ・京都企業と学生の大規模リクルートフェア（ジョブ博）や、学生と京都企業との連携によるビジネス交流会の開催 等		 
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①事業を通じた学生の府内就職者数（+150件） ②外国人起業家によるスタートアップ企業設立数（+60件） ③新事業開発に取り組む中小企業等数（+360件） ④時価総額100億円超スタートアップ企業輩出数（+6人）		関連URL （交付金の具体的使途・実施体制）調整中 （効果検証） https://www.pref.kyoto.jp/shingikai/keikaku-03/index.html

事業概要【脱炭素×ゆとりと賑わいのある地域の絆再構築事業】

推進当初

申請者	京都府久御山町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	268,797千円 (78,444千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	久御山町の脱炭素社会への施策を効果的に組み合わせることにより地域課題の解決につなげ、環境のまち「くみやま」としてのイメージアップも図り、人が集まり、交流が生まれ、賑わいを持ち、定住に繋がる地方創生事業を展開し、地域の活性化を目指し、久御山町における脱炭素社会と地域共生社会の実現を掛け合わせ、あらゆる世代にとって「住みよい社会」の実現を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	1 脱炭素で魅力を育みひとが集う未来のまちづくり ・エリア形成に向けた将来的な方向性確立 (委託料) 16,966千円 ・町内企業が求人に対して苦慮している課題解決のための方策検討 (委託料) 4,400千円 ・町内在住在勤インフルエンサーの講習会 (報償費) 641千円 ・久御山町「黄金の茶室」の展示会出展 (補助金) 2,288千円 ・コワーキングスペースの試験運営と施設のあり方検討及び方針決定 (委託料) 7,854千円、(工事請負費) 1,800千円、(備品購入費) 529千円 ・歩きたくなるウォーキングロード整備推進 (工事請負費) 1,000千円 2 グリーンインフラで憩いつながり子育て環境づくり ・町の農産物・特産物を活用した特産品の開発と地産地消イベント・販売会の実施 (補助金) 1,700千円 ・人と人がつながる広場づくり推進、官民連携による活用イベント実施 (委託料) 10,000千円 3 地域コミュニティ維持と健康で安心な生活を実現する環境の確保 ・公共交通との調和の検討や住民・企業・団体の主体的な参画による情報発信 (委託料) 2,684千円、(使用料及び賃借料) 3,300千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①社会動態 (+166人) ②歩くまちウォーキングアプリ登録者の歩数 (1人あたりの月平均歩数) (+45,000歩) ③くみやま子育て支援センター「はぐくみ」による相談件数 (+83件) ④農業の販売会や地産地消イベントの年間参加者数 (+300人)	関連URL	調整中

申請者	京都府精華町	初回採択回	令和5年度第1回募集																					
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	48,300千円（16,000千円）																					
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野																					
目的（効果）	町内企業の経済活動の活性化や産業競争力を強化し、付加価値の高い企業活動を展開して市場認知度向上を図り域外からの資金を獲得し、既存企業の事業拡大や、新たなビジネスチャンスの種を見つけた新規創業者の誕生にも繋げ、町内の経済循環の発展から地域全体の産業の活性化と底上げが達成されることを目標とする。																							
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<table><tr><th>事業名</th><th>補助対象</th><th>対象経費</th></tr><tr><td>① 認証及び産業財産権取得事業</td><td>市場優位性の確保のため、認証取得や商標権取得等の費用を補助</td><td>審査登録料、コンサルティング料その他町長が認める経費</td></tr><tr><td>② 展示会出展事業</td><td>販路開拓を目的として、国内外の展示会、見本市及び商談会等への出展や参加への補助</td><td>出展料、展示品装飾費、輸送費、通訳・翻訳費その他町長が認める経費</td></tr><tr><td>③ 雇用拡大・人材確保事業</td><td>優秀な人材確保を目的として、合同企業説明会への出展や求人サイトの活用への補助</td><td>求人広告掲載料、説明会出展料その他町長が認める経費</td></tr><tr><td>④ 事業計画策定事業</td><td>コロナ関連融資の返済を見据えた安定した事業継続のため、事業計画の策定に対する補助</td><td>セミナー受講料、テキスト代、コンサルティング料その他町長が認める経費</td></tr><tr><td>⑤ DX計画策定事業</td><td>機械の自動化、IoTの活用、生産管理ソフトの導入、ホームページの導入又は更新、キャッシュレス機器の導入等DXに係る事業計画の策定に対する補助</td><td>委託料、コンサルティング料その他町長が認める経費</td></tr><tr><td>⑥ DX推進機器導入事業</td><td>DX推進のため、DXに関するコンサルティングの結果等により、実際に新たなビジネスツールを導入への補助</td><td>ソフトウェア購入費、設備及び機器の借上料並びに購入費その他町長が認める経費</td></tr></table>			事業名	補助対象	対象経費	① 認証及び産業財産権取得事業	市場優位性の確保のため、認証取得や商標権取得等の費用を補助	審査登録料、コンサルティング料その他町長が認める経費	② 展示会出展事業	販路開拓を目的として、国内外の展示会、見本市及び商談会等への出展や参加への補助	出展料、展示品装飾費、輸送費、通訳・翻訳費その他町長が認める経費	③ 雇用拡大・人材確保事業	優秀な人材確保を目的として、合同企業説明会への出展や求人サイトの活用への補助	求人広告掲載料、説明会出展料その他町長が認める経費	④ 事業計画策定事業	コロナ関連融資の返済を見据えた安定した事業継続のため、事業計画の策定に対する補助	セミナー受講料、テキスト代、コンサルティング料その他町長が認める経費	⑤ DX計画策定事業	機械の自動化、IoTの活用、生産管理ソフトの導入、ホームページの導入又は更新、キャッシュレス機器の導入等DXに係る事業計画の策定に対する補助	委託料、コンサルティング料その他町長が認める経費	⑥ DX推進機器導入事業	DX推進のため、DXに関するコンサルティングの結果等により、実際に新たなビジネスツールを導入への補助	ソフトウェア購入費、設備及び機器の借上料並びに購入費その他町長が認める経費
事業名	補助対象	対象経費																						
① 認証及び産業財産権取得事業	市場優位性の確保のため、認証取得や商標権取得等の費用を補助	審査登録料、コンサルティング料その他町長が認める経費																						
② 展示会出展事業	販路開拓を目的として、国内外の展示会、見本市及び商談会等への出展や参加への補助	出展料、展示品装飾費、輸送費、通訳・翻訳費その他町長が認める経費																						
③ 雇用拡大・人材確保事業	優秀な人材確保を目的として、合同企業説明会への出展や求人サイトの活用への補助	求人広告掲載料、説明会出展料その他町長が認める経費																						
④ 事業計画策定事業	コロナ関連融資の返済を見据えた安定した事業継続のため、事業計画の策定に対する補助	セミナー受講料、テキスト代、コンサルティング料その他町長が認める経費																						
⑤ DX計画策定事業	機械の自動化、IoTの活用、生産管理ソフトの導入、ホームページの導入又は更新、キャッシュレス機器の導入等DXに係る事業計画の策定に対する補助	委託料、コンサルティング料その他町長が認める経費																						
⑥ DX推進機器導入事業	DX推進のため、DXに関するコンサルティングの結果等により、実際に新たなビジネスツールを導入への補助	ソフトウェア購入費、設備及び機器の借上料並びに購入費その他町長が認める経費																						
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①町内企業における新規販路開拓件数（+150件） ②新規雇用者数（+600人） ③新規創業事業者数（+70人） ④DX化取組事業件数（+40件）	関連URL	調整中																					

事業概要【地域と都市の結び付きを生み出す、持続可能で豊かな地域創造事業】

推進当初

申請者	京都府京丹波町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	58,126千円 (32,632千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	京丹波町の年間交流人口は400万人が流入する一方、地域活動やボランティアの人材は、恒常的に不足する状況。交流人口を関係人口へ繋げ、多種多様な地域課題に対する打開策として、地域貢献活動を通じた京丹波町の域内活性化を図るため、デジタルプラットフォーム等を導入する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	1. 農業体験の開催 事業費【2,000千円】 2. デジタルプラットフォーム運営事業 事業費【1,122千円】 3. 地域通貨（デジタル通貨）管理システム構築事業 事業費【17,710千円】 4. 農の学校の開設事業【1,800千円】 5. 交流拠点施設改修業務【10,000千円】 GO! GREEN GREEN 京丹波 KYOTAMBA 地域SDGs 活動プラットフォーム Regional City Activity Platform		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①デジタルプラットフォームを通じた関係人口創出数・・・（+520人） ②農業体験、農業学校に参加し、町内で就農した者の数・・・（+13人） ③地域通貨への交換総額・・・（+5,000千円）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.town.kyotamba.kyoto.jp/kakukakarasagasu/kikakujoyouhouka/gyomuannai/4444SDGs/7730.html （効果検証） https://www.town.kyotamba.kyoto.jp/gyoseijoho/shingikai_iinkai/kyotambachosogokeikakushingikai/6740.html 【令和5年度 第1回審議会概要および資料】

事業概要【人口減少が進む京都北部エリアの人材確保対策

推進当初

企業の人材不足対策の支援と若者等の移住・Uターン促進事業

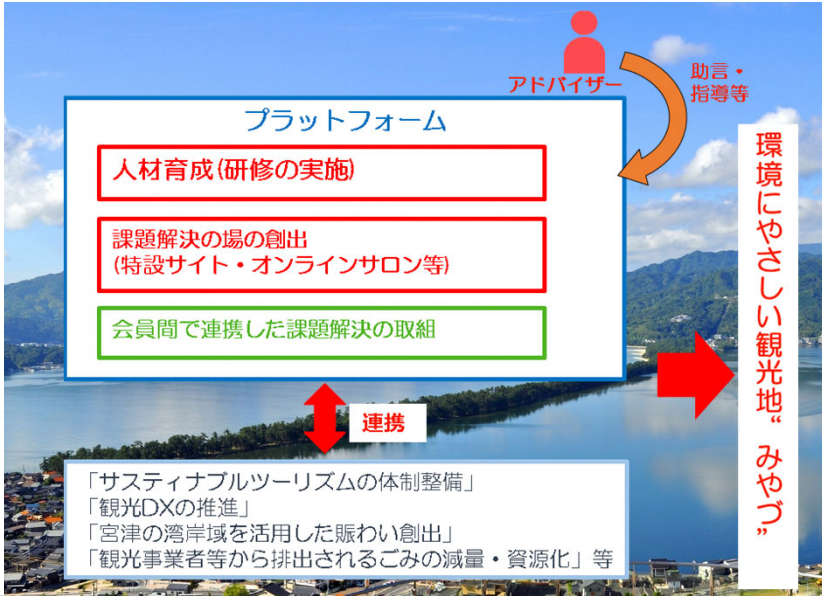
申請者	京都府、綾部市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	290,360千円 (98,428千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	○北部出身者を中心とする域外学生に対して地元企業はもとより地域そのものの魅力をセットで発信及び届けていくことにより、積極的に若者のUIJターンの促進を図る。 ○潜在的な労働力（女性、高齢者）の掘り起こしからマッチングまでパッケージで実施して、企業の人材不足の解消を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<u>1 域外学生に向けた積極的なUIJターン促進</u> ■北部地域インターンシップ広報発信事業、インターンシップセミナー開催、移住と就活がセットになったイベントの開催 (4,618千円) ■府内企業と都市部学生のマッチング交流会を開催し、都市部学生と府内企業の交流を促進 (4,720千円) ■都市部学生向け企業職場体験ツアーを開催 (8,015千円) <u>2 若者、女性、高齢者など、ターゲットのニーズに応じた個別相談からマッチングまでのパッケージによる支援</u> ■働き手の掘り起こしのための支援事業の実施 (21,725千円) 【補助率】補助対象経費の1/2 【補助上限】1,500千円、 ■若者、子育て中の女性、高齢者等のターゲットに応じたテーマ設定のセミナー、適職診断・ニーズ聞き取り等の伴走支援、企業とのマッチングイベントの開催 (35,398千円) ■市内企業の魅力や仕事・イベント情報の発信サイト作成 (3,163千円)		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①北部地域就職 UIJターン就職内定者数 (+3,450人) ②本事業に係る北部地域における新規就職内定者数 (女性・高齢者) (+450人) ③本事業に係る北部企業における人材確保数 (+1,500人)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) 調整中 (効果検証) https://www.pref.kyoto.jp/shingikai/keikaku-03/index.html



申請者	京都府ほか 2 自治体※	初回採択回	令和 6 年度第 1 回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	108,696千円（17,732千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	京都府の各地域が持つ資源等の強みを生かしながら、10年後、20年後の近未来を見据え、 産業の中核となる蓋然性の高いテーマを掲げ、イノベーションに取り組む国内外の異業種・異分野の企業や大学、研究機関等の集積を図り、交流・共創を通じて、次代の産業を創出する拠点づくりに取り組むとともに、深化型のオープンイノベーションネットワークを構築 することで、交流基盤の拡大し、自発的に新たな事業の種が生まれる持続可能なエコシステムを形成する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	【京都府】20年後を見据え、世界をリードする先進分野（スマート物流、ヘルス・スポーツ、スマートシティ、サステナブル産業など）をテーマに、新産業の種探しを行い、産業化を図るべく、国内外の異業種・異分野の企業や大学が集い、交流・連携する深化型の共創グループの組成や各事業検討に係る調査、勉強会を実施（12,000千円） 【城陽市】実証型の近未来都市形成を目指し、東部丘陵地中間エリアのまちづくりに関する市場調査および勉強会の実施、エリアマネジメント組織設立や誘致企業の検討といった具体的施策の展開（182千円） 【井手町】スマートフードチェーンの構築等を目指し、産官学による共同研究・新商品開発、流通システムの構築及び既存の加工施設の改修（5,550千円） 異業種・異分野 企業・大学による 交流・共創ネットワーク 新たな 産業分野 自発的に新たな事業の種が 生まれ続ける持続可能なエコシステム		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①事業を通じた新規就業者数 （+17人） ②オープンイノベーションエコシステム形成を通じたスタートアップ企業設立数及び大企業等とスタートアップのマッチング件数 （+60件） ③国内外の企業・大学等の参画団体数 （+300団体）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制）調整中 （効果検証） https://www.pref.kyoto.jp/shingikai/keikaku-03/index.html

※京都府、城陽市、井手町の広域連携事業

申請者	京都府宮津市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	12,187千円 (4,687千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	・環境にやさしい観光地づくりに向け、様々な団体、事業所、市民が参画し、各種課題を解決する仕組みを作る。 ・それぞれが環境にやさしい取組を積極的に展開し、環境という新たな切り口から観光地としての魅力を向上させる。 ・観光を核とした地域経済の活性化を図り、1人あたりの市民所得を増やしていく。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○環境にやさしい観光地づくりに向けた人材育成 ・人材育成研修(委託費) 275千円 市民・事業者の意識醸成に向けた研修の実施 ○環境にやさしい観光地づくりに向けた課題解決の場の創出 ・気運醸成や情報共有等に向けた特設サイト制作や先進事例となる取組の発信 (委託費) 3,149千円 ※オンラインサロン(デジタル上での意見交換の場)の構築を併せて実施 ・課題解決に向けた体制の構築(委託費) 1,263千円 専門知見を有するアドバイザーを設置し、課題の見える化や解決に向けた助言等を行う体制の構築		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額(+32億円) ②プラットフォームにおける取組数(+12件) ③プラットフォーム会員数(+90会員)	関連URL	調整中



事業概要【自然・文化を織りなし百の才が生き輝くまち京丹後を実現する観光推進事業】

推進当初

申請者	京都府京丹後市	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	56,090千円 (18,490千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	・官民連携で本市の魅力である「産業・歴史・文化・長寿・食」などの資源を磨き上げ、掛け合わせ観光コンテンツとして提供することで、本市の観光面での課題である2季型観光からの脱却や、長期滞在による観光消費額の増加等による地域活性化を実現する。 ・また、これを一時的な取組にせず、新たな誘客、交流、連携、チャレンジを生み出し続ける本市の観光振興基盤の形成を目指す。		
事業概要・ 主な経費	○地域一体型オープンファクトリーイベント実施事業 3,000千円 オープンファクトリーや地域性を活かしたツアーを企画・運営していくにあたり、事業者同士や京都・丹後の資源・文化・歴史・産業を繋げたストーリー性のあるツアープログラムの企画 ○京丹後市の魅力を活かした観光地づくり事業 13,755千円 本市の資源である「健康長寿」を活かしたヘルスツーリズム、受賞実績のある美食都市としてのプロモーションなど、京丹後市の顧客価値向上を目指し選ばれる観光地としての魅力を向上。 ○文化財を活用した文化啓発・観光周遊の推進事業 1,735千円 令和6年度末に史跡整備が完了する網野銚子山古墳など、市内の文化財資源を新たに活用した誘客施策を実施 2024 GASTRONOMIC CITIES/ JAPAN 2024  2024美食都市アワードを受賞 日本のふるさと 京丹後めぐりマップ  日本海側最大の 前方後円墳 「網野銚子山古墳」		
KPI	※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値 ①観光消費額 (+26億円) ②観光客入込客数 (+35万人) ③宿泊客数 (+15万人) ④外国人宿泊客数 (+6,000人) 関連URL (交付金の具体的使途・実施体制) https://www.city.kyotango.lg.jp/top/soshiki/somu/zaisei/7/3/r6_1//2/20394.html (効果検証) https://www.city.kyotango.lg.jp/top/soshiki/mayoroffice/hishokoho/3/4/1/2294.html		

申請者	京都府久御山町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	140,042千円 (29,217千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	・旧巨椋池地区（御牧地域）の地域活性化に資する賑わい創出や定住の促進を図る。 ・旧巨椋池地区の自然の恵みを楽しむ歴史ある街並みと、近代設備等が共存するまちづくりを進め、食や文化、人・もの・情報が交流する要衝としてさらなる発展を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	1 巨大インフラ活用事業 ・官民連携によるかわまちづくり構想事業（委託料）5,456千円 2 東一口（仮）太閤堤集落活性化事業 ・（仮）太閤堤集落魅力発信事業（委託料）2,700千円、（補助金）1,500千円 ・歴史的・文化的真価機運醸成事業（報償費）510千円、（需用費）100千円 ・「旧山田家住宅」一般公開の機能向上整備事業（委託料）5,400千円 3 農業振興・直売ネットワーク推進事業 ・農産物直売PR事業（需用費）930千円 ・まちの駅クロスピアくみやまにおける久御山町特産品販売機能の強化（備品購入費）2,947千円 ・府内道の駅等との広域連携に向けたスタートアップ事業（補助金）300千円 4 賑わい創出・定住促進事業 ・町内住生活調査（委託料）9,134千円、（報償費）222千円、（費用弁償）18千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①御牧地域の人口（+30人） ②旧山田家住宅入館者数（+150人） ③東一口桜並木観光入込客数（+600人） ④巨椋池排水機場・久御山排水機場見学者数（+150人）	関連URL	調整中

地方創生拠点整備タイプ (当初予算分)

事業概要【京都府プレミアム中食オープンイノベーションラボ整備事業】

拠点当初

申請者	京都府	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R7年度	期間中の交付対象事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	1,085,953千円 (30,000千円)
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ (当初予算分)	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	高機能性中食など加工食品の開発拠点となる京都府プレミアム中食オープンイノベーションラボを整備し、地域の食材、食文化、中食開発技術を結びつけ、地域ブランド中食を生み出すことにより、農林水産業を含む食関連産業の成長産業化を図る。		
整備内容・ 利活用方策 ※経費内訳はR6年度事業費	「京都食ビジネスプラットフォーム」から生まれたアイデアなどの商品化に向けた試作品の作製、機能性成分の分析、品質の評価等を通じ、府内産農産物を活用した中食向け機能性食品などの開発を支援するための拠点を整備。 ①加工技術研究 (独立研究室・コワーキングラボ) ②試作品作製 (コワーキングキッチン) ③ニーズ調査・異業種交流 (イベントスペース等) 加工技術研究室に食感や、におい、うまみ成分、機能性分析などが可能な分析機器や物性の調査機器を導入し、分析結果の数値をデータベース化することで、効率的な商品開発を可能とする。 ○施設整備等 (設備整備・用地造成を除く) 基本設計・実施設計 30,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①山城地域12市町村の農業産出額 (+7億円) ②本施設を利用する食品加工業者数 (+3,000団体) ③本施設を利用して事業化された加工食品の販売金額 (+600,000千円) ④本施設を利用する農家数 (+1,500人)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証) https://www.pref.kyoto.jp/shingikai/keikaku-03/index.html

地方創生拠点整備タイプ (補正予算分)

申請者	京都府亀岡市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	347,622千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	地域の核となる人が集う拠点施設が減少している東別院町において、交流拠点となる施設を整備し、地域の集会所や習い事の間としての利用を促し、地域の賑わいを創出します。		
整備内容・利活用方策	地域コミュニティ組織の武道・室内スポーツなどの活動を行う講堂（道場）や料理教室などを行う里山工房、石田梅岩に関連する資料等の収蔵庫を整備。Wi-Fi環境を整え、コワーキングスペースを設けるとともに、定期的にPC・スマホ教室を開催し、デジタルデバイドの解消を図る。 ・建築工事費 252,129千円 ・電気設備工事費 44,875千円 ・機械設備工事費 50,618千円		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①地域人口の社会減の緩和（+19人） ②施設利用件数（+450件） ③コワーキングスペース利用件数（+250件） ④観光目的の来館者数（+400人）	関連URL	https://www.city.kameoka.kyoto.jp/